

専教振主催研修会

●専修学校教職員向けキャリア・サポーター養成講座

8月17日から19日までの3日間、東京都・日本電子専門学校を会場として、専教振主催「専修学校等教職員向けキャリア・サポーター養成講座」【東京会場】が開催された。本講座は、専修学校等でのキャリア・サポート＜学生生徒が自分自身のキャリア（仕事人生）を主体的に設計・選択・決定できるように支援すること＞を推進するために、教職員が有すべきマインド（態度や姿勢・考え方）を養成することを目的としている。

講師は、専教振認定キャリア・サポーター養成トレーナーの船山世界氏（日本電子専門学校総務部長）。受講者は全国より参加した専修学校等教職員22名。

講座はカリキュラムに基づき、1日目は「若者を受け止めよう」、「仕事、キャリア、キャリア開発」、2日目は「キャリア・サポートのためのコミュニケーションスキル」、「自己理解の促進」、3日目は「仕事理解とキャリア・ガイダンス」、「キャリア・サポートの姿」をテーマに進められた。

また、同内容の講座【大阪会場】が8月24日から26日までの3日間、大阪府・ホスピタリティツーリズム専門学校大阪において、受講者16名を得て開催された。講師は同じく専教振認定トレーナーの西田君美雄氏（Office W-Planning 代表）。

両会場とも、グループワークを中心とした体験学習スタイルによって所定の全プログラムを実施し、全日程を終了した。今後、講座の修了を認められた者は、「キャリア・サポーター」として認定・登録される。

なお、本講座は、専教振主催以外に、同一カリキュラムに基づき、今年度は、5月に北海道・経専学園、8月に島根県・坪内学園、(社)長野県専修学校各種学校連合会、(社)静岡県専修学校各種学校教育振興会においてもそれぞれ開催されている。

●第16回ビジネス教育指導者研修会

今回で第16回を迎える「ビジネス教育指導者研修会」が、8月4日から6日まで、東京都・クロスウェーブ府中で開催された。この研修会の目玉は、教員の要である授業力を磨くため「教育実習」を実施し、講師・仲間のフィードバックを受ける点だ。自らの授業に対して気付きを得られると受講生に評判だ。質の高い職業教育のできる人材の養成を目的として毎年8月に実施。今回の参加者は16名。

開講にあたり中村徹専教振副理事長から激励の挨拶があった。初日は、榊田嘉生講師によるアイスブレイクを兼ねた参加者の自己紹介を行い、グループに分かれ課題実習を行った。午後からの教育実習は、各参加者が18分間の模擬授業を行ったあと、講師と受講者の講評を10分間受ける形で行われ、2日目の夕方まで続けられた。全員の実習が終了した後、再度グループに分かれ教育実習の振り返りが行われた。夜には懇親会が開かれ、講師と受講者が研修会の内容や日頃の職業教育などについて積極的に意見交換を行った。最終日は、インターコンチネンタル東京ベイ研修担当部長立石貴子氏、有限会社プライド代表取締役岩田直樹氏を迎え「企業が求める人材」とその教育についてディスカッションを行った。古垣みゆき講師による「教師のあり方」ー学習意欲を喚起するにはーをテーマにグループワークが行われた後、ひとりひとりが学んだことをどう行動に移すか“アクションプラン”にまとめ発表、閉講となった。

【参加校】（都道府県・五十音順）

福島県・ケイセンビジネス公務員カレッジ、群馬県・中央情報経理専門学校、中央情報経理専

門学校高崎校、埼玉県・中央情報専門学校、千葉県・国際トラベル&ホテル専門学校、国際理工専門学校、東京都・国際理容美容専門学校、日本工学院八王子専門学校、愛知県・名古屋製菓専門学校、大阪府・高津理容美容専門学校、ホンダテクニカルカレッジ関西、岡山県・岡山科学技術専門学校、福岡県・麻生建築&デザイン専門学校、専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ、沖縄県・専門学校沖縄中央学園